

日本ブドウ・ワイン学会 (ASEV JAPAN) 評議会資料
(2021年11月吉日 メール会議)

I 報告および説明

1. 事業報告..... p.1
2. 決算報告..... p.6
3. 会計監査報告 p.7
4. 事業計画、予算案 p.8

II 議事

1. 事業報告、決算報告、会計監査の承認
2. 事業計画案および予算案の承認

2020～2021年日本ブドウ・ワイン学会（ASEV JAPAN）事業報告（案）

（2020年11月1日から2021年10月31日まで）

1. 会員現況

2021年10月31日現在の総会員数は421名（社）で、昨年と同じであった。

会員区分	人数	前年比
専門会員（ASEV会員）	73	-4
専門学生会員（ASEV会員）	1	0
一般会員	254	+7
一般学生会員	14	+1
名誉会員（ASEV会員1名を含む）	10	0
特別個人会友	4	-2
産業会員	65	-2
合計	421	0

2. 年次大会, 総会

2-1 2020年 名古屋大会（オンライン）

日本ブドウ・ワイン学会2020年名古屋大会（第35回）が、2020年12月5日（土）～6日（日）まで、YouTubeを利用したオンライン上で開催された。中尾義則氏（名城大学）が大会実行委員長を務めた。内容はオンラインサーバー上に動画発表ファイルを置き、学会ホームページサーバー内の暗証番号付きリンクからアクセスする形式で行った。また、参加者の募集はGoogle Form機能で行った。大会参加者は301名であった。新型コロナウイルスの影響でオンデマンド配信となり参加しやすかったこともあり、昨年と比べて約100名多い参加者を得ることができた。学術発表は口頭発表が16題、学会賞受賞講演（論文賞）「次世代の農業資源保存のためのワインツーリズムの可能性」（小田滋晃・高井利洋・川崎訓昭・坂本清彦・横田茂永・長谷 祐）であった。

大会発表賞：猪狩太基（山梨大ワイン研）

「ブドウ中のBSA非沈澱性タンニンの分布および醸造中の挙動」

2-2 第37回総会

2020年12月5日(土)～6日(日)に、学会ホームページ上に作成した特設リンクにより、総会資料を会員向けに公開し、予め送付したハガキにより意見などを聴取・承認を行った。(参加者会員122名、委任状118通)これにより2019～2020会計年度の事業報告、決算報告、会計監査報告がなされ、全ての報告(議案)が承認された。また、2020～2021会計年度の事業計画案と予算案が承認された。

3. セミナーの開催

セミナーはコロナ禍により開催が困難と判断し、中止した。

4. 常任理事会

常任理事会は3回{[第121回, 2020年11月24日(月), メール会議][第122回, 2021年5月10日(月), Zoom会議][第120回, 2021年9月29日(水), Zoom会議]}開催された。

全ての議事内容はJ. ASEV Jpn.を通して全会員に報告される予定である。

5. 評議会

2020年評議会は2020年11月5日(木)に評議会資料を郵送することで開催され、第37回総会への提出議案について検討され、承認された。

6. 編集委員会報告

(1) 編集委員会の開催

2020年度編集委員会を2020年12月4日(金)にオンラインで開催し、学会誌の編集・査読方針について審議し、以下のことが承認された。

①オンラインを軸とした投稿方法の継続について

論文投稿の受付・査読の更なる迅速化を図るため、前回(2019年)の編集委員会で確認された紙媒体での投稿からオンラインでの投稿への変更を引き続き継続することを確認した。その上で、学会誌やHPを通じての学会員へのより一層の周知を図ることとした。

②査読システムについて

査読システムの効率化を図るため、論文担当者制を継続することとした。

③2020 年度以降の入稿方法について

現在オンラインにて入稿している文書形式を Word 形式から PDF 形式に変更し、従来、編集事務局で行ってきた編集調整作業を可能な限り業者に任せることとした。

④掲載記事について

産業関係者が多い学会であることから、引き続きブドウ栽培やワイン醸造、ワインの効能に関する情報を学術情報として掲載していくと共に、全国各地において取り組まれてきている様々なワインに関する地域情報の掲載にも努めていくこととなった。

(2) 会誌の発行

J. ASEV. Jpn. Vol.31(3), Vol.32(1)を発刊した。

Vol. 31(3)は、研究報文 3 編 (Original Paper 3 報), 学術情報 1 報, ASEV 論文の概要 [Vol. 70 (4) と Vol. 71 (1) の醸造・栽培関係], 常任理事会議事録, 投稿規程・投稿要領、および入会案内を掲載し、12 月 10 日付けで発行した。

Vol. 32(1)は、巻頭随想, 研究報文 1 編 (Original Paper1 報), 学会情報 5 報, ASEV 論文の概要 [Vol. 71 (2), (3) の醸造・栽培関係], 常任理事会議事録, 投稿規程・投稿要領および入会案内を掲載し、7 月 30 日付けで発行した。

Vol. 32 (2) : 2021 年度大会講演要旨集として、2021 年 11 月に発行した。

7. 事務局

アメリカ学会との折衝, 会計処理, 名簿管理, 2021 年度大会への準備, 学会誌等の発送, ホームページの管理などを行った。

8. 学会賞選考委員会

2021 年 学会賞選考委員会 (功績賞, 功労賞, 技術賞) は次の通りである。

委員長 : 後藤奈美

委員 : 奥田 徹, 小田滋晃, 小原 均, 恩田 匠, 小林弘憲, 澤邊昭義, 中村ゆり, 中尾義則, 宮井孝之

選考委員会の開催（功績賞，功労賞，技術賞）

日本ブドウ・ワイン学会（ASEV JAPAN）授賞規定に基づき 2021 年功績賞、功労賞および技術賞の推薦を行い（2021 年 7 月 6 日（火））候補者を選出した。2021 年 9 月 29 日（水）に選考委員会を開催し、以下のように決定した。

2021 年 功績賞：該当なし

2021 年 功労賞：該当なし

2021 年 技術賞：

乙黒美彩（山梨大学）・丸藤葡萄酒工業株式会社・岸本宗和（山梨大学）「ワインの自然発酵におけるスケールアップ法応用の可能性」

林 幹雄（株式会社林農園）・山下裕之（山梨大学）「ブドウの新整枝・せん定法ハヤシースマートシステムの開発」

2021 年 学会賞選考委員会（論文賞）は次の通りである。

委員長：後藤奈美

委員：奥田 徹，小田滋晃，小原 均，恩田 匠，小林弘憲，澤邊昭義，中村ゆり，中尾義則，宮井孝之

選考委員会の開催（論文賞）

日本ブドウ・ワイン学会（ASEV JAPAN）授賞規定に基づき 2021 年論文賞の推薦を行い（2021 年 7 月 6 日（火）），2021 年 9 月 29 日（水）に選考委員会を開催し、以下のように決定した。

2021 年 論文賞：該当なし

9. 選挙

2020 年 12 月 5 日（金）～6 日（土）に、学会ホームページ上の特設リンクで開催した総会において、本会定款第 3 条、及び 7 条の規定により、2021 年 1 月 1 日より 2022 年 12 月 31 日を任期とする役員選挙を行い、以下に示す候補者が承認された。

会 長	後藤奈美（酒類総研）
書 記	中尾義則（名城大）
会 計	洞口健一（アサヒビール）
理 事	小林弘憲（メルシャン），小原 均（千葉大），恩田 匠（山梨県），澤邊昭義（近畿大），宮井孝之（サントリーワインインターナショナル），

中村ゆり（農研機構）
編集委員長 小田滋晃（レイ・パストゥール医学研究センター）
事務局長 奥田 徹（山梨大）

名誉顧問 児玉 徹
名誉会員 井上 繁，上野 昇，岡本五郎，米虫節夫，嶋谷幸雄，袖山政一，
中西載慶，平山史郎，松井弘之，松本信彦，村上安生

評 議 員 伊藤和秀，上野 昇，喜多常夫，金子明裕，川邊久之，小山和哉，
佐藤充克，清水健一，曾根輝雄，塚原嘉章，内藤彰彦，中西載慶，
萩原健一，三澤茂計，矢ヶ崎啓一郎，柳田藤寿，吉崎隆之，渡辺唯史

会計監事 工藤雅義，高室竜吾

事 務 局 奥田 徹，斉藤史恵，鈴木俊二，久本雅嗣，松土俊秀，横森洋一

以上

II. 2020～2021年日本ブドウ・ワイン学会 (ASEV JAPAN) 決算報告 (案)

1 一般会計(2020年11月1日～2021年10月31日)

I 収入の部

科目	予算	2021年 実績
a 前年度繰越	2,058,156	2,058,156
b 年会費	1,750,000	1,787,060
c その他(別刷、雑誌代等)	0	73,500
d 預金利息	5	4
e アメリカブドウ・ワイン学会(ASEV)より補助金(\$ 500)	50,000	53,370
合計	3,858,161	3,972,090

II 支出の部

科目	予算	2021年 実績
a 会誌刊行費(Vol. 31-2, 3, 32-1)	850,000	698,050
小計	850,000	698,050
b 事業費		
セミナー開催費(2021年)	150,000	0
会議費	60,000	426
本部運営費	400,000	92,737
編集委員会運営費	250,000	16,500
大会準備金(2021年大会)	150,000	0
西日本地域研究会関係費	100,000	100,000
各賞経費	300,000	348,757
小計	1,410,000	558,420
c 事務費		
印刷費	100,000	60,412
通信費	60,000	51,755
消耗品費	50,000	70,536
振替手数料、送金料	70,000	55,410
小計	280,000	238,113
d 特別会計(アメリカ学会交流費準備金)へ繰入	200,000	200,000
e 予備費	1,118,161	22,050
合計	3,858,161	1,716,633

III 収支

収入	3,316,065	3,972,090
支出	3,316,065	1,716,633
収支	0	2,255,457

2 特別会計(2020年11月1日～2021年10月31日)

(1) アメリカブドウ・ワイン学会交流費準備金

	予算	2021年 実績
I 収入		
a 前年度繰越	1,328,488	1,328,488
b 2020～2021年一般会計より	200,000	200,000
c 預金利息	0	12
合計	1,528,488	1,528,500
II 支出		
a 年次大会へのASEV親学会代表招待関係費	0	0
b ASEV親学会との交流、意見交換会費	50,000	0
c 予備費	0	0
合計	50,000	0

Ⅲ 収支		
収入	1,528,488	1,528,500
支出	50,000	0
	<hr/>	<hr/>
	1,478,488	1,528,500

(2) 記念事業費等準備金		2021年
Ⅰ 収入	予算	実績
a 前年度繰越	2,599,085	2,599,085
b 預金利息	0	45
合計	<hr/>	<hr/>
	2,599,085	2,599,130
Ⅱ 支出		
定期預金へ	2,598,202	2,599,130
合計	<hr/>	<hr/>
	2,598,202	2,599,130
Ⅲ 収支		
収入	2,598,202	2,599,130
支出	2,598,202	2,599,130
	<hr/>	<hr/>
	0	0

3 財産目録(2021年10月31日現在)

Ⅰ 資産		
現金		0
普通預金(山梨中央銀行武田通支店)		791,753
郵便振替貯金		1,463,704
合計	<hr/>	<hr/>
		2,255,457
Ⅱ 特別会計		
アメリカブドウ・ワイン学会交流費準備金		1,528,500
記念事業等準備金		2,599,130
親学会会費納入代行準備金		617,167

会計監査報告

上記の現金、預貯金、帳簿並びに諸票書類を監査した結果、相違ないことを確認しました。

2021年 10月26日

会計監事

高室 竜彦 工藤 雅義

2021～2022年 日本ブドウ・ワイン学会 (ASEV JAPAN) 事業計画 (案)

(2021年11月1日～2022年10月31日)

1. 大会の開催

2021年大会は2021年12月3日(金)～12月4日(土)に奥田徹氏(山梨大学)を大会実行委員長として、オンラインで開催するための準備を行う。また、2022年大会は、安藤光弘氏(山梨県ワイン酒造組合)を大会実行委員長として山梨県で開催するための準備を行う。

2. セミナーの開催

2022年大会の開催に合わせて、2022年セミナーを開催するための準備を行う。

3. 日本ブドウ・ワイン学会 (ASEV JAPAN) 各賞の授与

日本ブドウ・ワイン学会 (ASEV JAPAN) 各賞を授与する。

4. J. ASEV Jpn.誌の発行

J. ASEV Jpn.を当期に3号分発行する。

[Vol. 32, No.3 (2021年12月発行予定), Vol. 33, No.1 (2022年6月発行予定), Vol. 33, No. 2 (2022年11月発行予定)]

5. アメリカブドウ・ワイン学会年次大会への日本部会代表の参加

2022年6月のアメリカブドウ・ワイン学会(カリフォルニア州サンディエゴ)に代表者を派遣し、交流を図る。

6. 年次大会や学会誌での論文発表の促進

年次大会での発表数や論文の数が増えるように努力する。

7. 会員増員への努力

学術研究、あるいはブドウ栽培およびワイン製造に従事する個人会員の勧誘(各役員は1名以上の新会員候補者を学会本部あて提出)。

8. 産業会員の勧誘と会費の増口要請

産業会員や会費の口数が増えるように努力する。

9. 学会ホームページの整備とその運営方針の確立

学会ホームページの整備を行い、運用方法を改訂する。

10. 定款の改訂

定款を見直し、必要があれば改訂する。

以上

2021～2022年日本ブドウ・ワイン学会 (ASEV JAPAN) 予算 (案)

1 一般会計(2021年11月1日～2022年10月31日)

I 収入の部

科目	予算
a 前年度繰越	2,255,457
b 年会費	1,750,000
c その他(別刷、雑誌代等)	0
d 預金利息	5
e アメリカブドウ・ワイン学会(ASEV)より補助金(\$ 500)	50,000
合計	4,055,462

II 支出の部

科目	予算
a 会誌刊行費(Vol. 32-2, 3, 33-1)	850,000
小計	850,000
b 事業費	
セミナー開催費(2022年)	150,000
会議費	60,000
本部運営費	400,000
編集委員会運営費	250,000
大会準備金(2022年大会)	150,000
西日本地域研究会関係費	100,000
各賞経費	300,000
小計	1,410,000
c 事務費	
印刷費	100,000
通信費	60,000
消耗品費	50,000
振替手数料、送金料	70,000
小計	280,000
d 特別会計(アメリカ学会交流費準備金)へ繰入	200,000
e 予備費	1,315,462
合計	4,055,462

III 収支

収入	4,055,462
支出	4,055,462
収支	0

2 特別会計(2021年11月1日～2022年10月31日)

(1) アメリカブドウ・ワイン学会交流費準備金

I 収入

a 前年度繰越	1,528,500
b 2021～2022年一般会計より	200,000
c 預金利息	0
合計	1,728,500

II 支出

a 年次大会へのASEV親学会代表招待関係費	600,000
b ASEV親学会との交流、意見交換会費	50,000
c 予備費	0
合計	650,000

Ⅲ 収支	
収入	1,728,500
支出	650,000
	<hr/>
	1,078,500

(2) 記念事業費等準備金

Ⅰ 収入	
a 前年度繰越	2,599,130
b 預金利息	0
合計	<hr/>
	2,599,130
Ⅱ 支出	
定期預金へ	2,599,130
合計	<hr/>
	2,599,130
Ⅲ 収支	
収入	2,599,130
支出	2,599,130
	<hr/>
	0